

！ 培養開始にあたっての注意 ！

RCB3521:HAM1 は、通常の多くの細胞とは異なります。

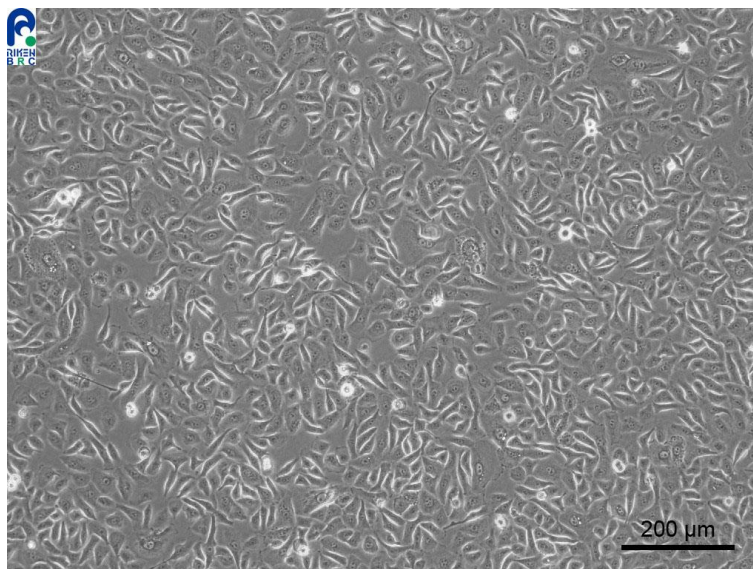
・無血清培養のため、継代方法に注意が必要です。

<継代方法>

1. 培地を除去し、PBS(-)で1回洗う。
2. トリプシン-EDTA を加え、細胞表面を洗った後、少量を残して液を抜き、37°Cで2分程度インキュベートする。
3. 蓋に液が飛ばないように注意しながら、ディッシュを水平にたたき細胞をはがす。顕微鏡で8割程度の細胞が剥がれたことを確認する。付着細胞が多い場合は、さらに1分インキュベートする。
4. 培地を加え、ピペッティングする。
5. 遠心チューブにPBS(-) または培地を、トリプシン-EDTA の液量の10倍量程入れておき、剥がした細胞を懸濁させる。
6. 遠心 1000rpm(200g 前後)、3分、室温。
7. 5~6の操作を1~2回行う。
8. 1:2~3 split で継代する。
9. 翌日以降に付着細胞が見られることを確認する。

※ 無血清培養が初めての方は、1回目の継代時にすべての容器の細胞を継代せず、継代翌日に付着細胞が見られることを確認してから、残りの細胞の継代を行うようにして下さい。

培養の開始にあたりましては、以上の点にご留意ください。



【お問い合わせ】 cellqa@brc.riken.jp